

## いつか咲く手話の花の小さな種を蒔きながら

功労者

## ■ 団体名・氏名

府中手話サークル トロッコ

## ■ 基本データ

継続年数	49 年間
主な連携先	社会福祉協議会、小学校、中学校、医療機関等
団体の規模等	12 名

対象

聴覚障害

活動分野

学習

文化芸術

スポーツ

情報保障

普及啓発

その他

## 活動の概要

手話通訳活動を通じた聴覚障害者支援に幅広く取り組んでおり、聴覚障害者と健聴者がともに手話を学び交流し、支援者と当事者がともに聴覚障害や手話を市民に伝えていく機会を創出しています。手話ボランティア養成講座と手話サークル活動の開催のほか、手話通訳者の派遣、小学校・中学校での福祉体験学習の講師、市のイベントでの広報活動など積極的に活動しています。

## ■ 活動内容

府中手話サークル トロッコは、広島県府中市において手話ボランティア団体として活動しており、現在、手話ボランティア養成講座の開催（初級・フォローアップをそれぞれ隔週で実施）、手話サークル活動（手話ボランティア養成講座の実施週以外の週で実施）のほか、依頼に応じた手話通訳者の派遣、小学校・中学校での福祉体験学習の講師、ボランティア活動を通じた聴覚障害者との交流などの活動を実施しています。聴覚障害者の方が取り残されることなく、地域の一員として一緒に活動していくことを大切にしながら、50年近くに渡って手話通訳活動を継続しています。

これからも聴覚障害者支援を十分に行っていくためには、後継育成が喫緊の課題であり、手話通訳の担い手を増やし、専門用語や意図を齟齬なく通訳する手話技能向上が必要となります。今後も手話通訳活動の学習、普及啓発活動を通じた後継育成、手話技能向上に積極的に取り組んでいきたいと考えています。



写真 1

ろう者との交流会

## ■ 活動の経緯・体制

昭和51年に、聴覚障害者支援をされていたご夫妻が開催していた手話講習会に集った有志で結成し、手話ボランティア養成講座の開催、手話サークル活動、手話通訳者の派遣などの活動を開始しました。その後、学校での福祉体験学習の講師など活動を広げています。

現在、府中市民を中心に会員12名でこれらの活動に取り組んでいます。

## ■ 活動の工夫・成果

子供の時期から障害者支援活動の普及啓発、理解促進に取り組むことが大切と考えており、学校の福祉体験学習に積極的に関わっています。支援者と聴覚障害者が実際に学校に出向いて指導し、児童生徒に障害の程度や生活上できること、困っていることの具体的内容など当事者の声を直接届けるように工夫しています。児童生徒が聴覚障害者の困りごとを実感し、障害の程度に応じた支援方法などを学習できる機会の増加に繋がっています。



写真 2

小学校での体験学習